

# 大粒系ブドウ「クイーンニーナ」

「クイーンニーナ」は、安芸津 20 号と「安芸クイーン」を交雑した果皮が赤色のブドウです（図）。（独）農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所が育成し 2009 年に品種登録申請されました。

開花期は、「ピオーネ」、「安芸クイーン」と同時期です(表)。

収穫期は、「巨峰」、「ピオーネ」及び「安芸クイーン」より 1 週間程度遅いです。

果房重は 500 g 程度，糖度は 19° Brix, 果肉特性は崩壊性で食味は良好です。

ジベレリンの 2 回（満開 3 日後及び満開 13 日後）処理により，無核化が可能で，果粒重は 18 g になります。



図 「クイーンニーナ」の果房

表 「クイーンニーナ」と対照品種の生育及び果実形質

品種名	開花盛期 (月/日)	収穫盛期 (月/日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色	果肉 特性	糖度 (° Brix)	酒石酸 含量 (g/100ml)	含核数 個/粒
「クイーンニーナ」	5/29	9/2	495	17.8	赤	崩壊性	19.4	0.35	0.3
「巨峰」	5/25	8/28	403	13.8	紫黒	中間	17.5	0.55	0.6
「ピオーネ」	5/27	8/24	410	16.4	紫黒	中間	19.1	0.53	0.5
「安芸クイーン」	5/27	8/24	410	16.4	赤	中間	19.1	0.53	0.5

調査場所（期間）：農業技術センター果樹研究部（2005～2007年）

根域制限栽培

植栽年次：2004年

崩壊性：噛み切りやすい肉質のこと